

編集・発行

町田市男女平等推進センター

運営委員会

町田市原町田4-9-8

町田市民フォーラム3階

TEL 042-723-2908



コロナ禍での町田の男女平等運動は？

— “繋がり” つつ “新しい日常” の構築へ —

コロナ感染が止まりません！「女性悩みごと相談」から見る市民の悲鳴

センター事業の一つ、「女性悩みごと相談」の相談件数は4月：183(内DV3)件、5月：187(内DV6)件で、多様な相談が寄せられ、コロナ禍で深刻さが増しています。コロナ関連とDVについての主な相談を紹介します。

<コロナ関連>

- ・家族の在宅勤務がストレス。
- ・コロナウイルスのせいで、外出が怖い・億劫、ストレス、不安、疲れ。
- ・マスクや消毒薬が購入できない。生活用品の値上がり心配。
- ・政府のやり方が納得いかない、施策の実施までが遅い、政治への不安、緊急事態解除後が不安。
- ・コロナ感染者(実際は違うが)と噂され、深く傷ついた。
- ・コロナが不安で仕事を休んでいる。
- ・夫が仕事を辞めたいと言い出したので心配。
- ・娘の会社がコロナ関係で倒産した。
- ・定額給付金がもらえるか不安。

<DV 関連>

- ・職場結婚後DVで離婚、自分だけ退職。許せない。
- ・娘がDV被害に遭っている、シェルターについて相談。
- ・夫との離婚後の生活が心配。
- ・離婚裁判費用の不満や心配。
- ・夫が保険を解約しようとしている心配。
- ・夫からの経済的DVで給付金が受け取れない。
- ・調停がうまくいかない、死にたい。
- ・DVで避難中、避難先で保育園に入れるか？
- ・自分が夫にDVをしている、隔離してほしい。

この様な状況下での「第21回まちだ男女平等フェスティバル」の実施は？

— 止めることなく繋がり、新しい形態・オンライン形式で！ —



7月28日「フェスティバル第1回実行委員会」が開かれました。今年は「3蜜」を避けるため、例年の「蜜で熱い繋がりあう実行委員会」が行えません。「フェスティバル開催」の可否も含め、「コロナ感染を防止しながら、どのような形態でフェスティバルが行えるか」を検討し、「プロジェクト委員会」設置を決定しました。

「プロジェクト委員会」は、2021年1

月30-31日に第21回まちだ男女平等フェスティバルを、オンライン形式で、「ホールでの基調講演と実行委員会企画のみ」を実施することを決めました(コロナで中止もありえます)。

昨年のフェスティバル実行委員の皆さん

文責：運営委員

男女平等推進センターから

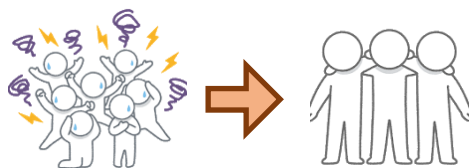
報告

アンガーマネジメントで 毎日笑顔

実施日：7月31日（金）

新型コロナウイルス感染症の影響などで、新しい生活様式がスタートして、時には不満やイライラが募ってしまうことも。そんなイライラとどのように付き合っていくか、怒りの連鎖をどうやって断ち切るかを学びました。

「職場で紹介したいと思います。」や、「自分の行動が周りを変える。ちょっと怒りを出す前に考えたいと思いました。」などの感想をいただきました。



お知らせ

女性のための就職準備セミナー 子育て中の方のためのパソコン講習

実施日：9月29日（火）～10月1日（木）

3日間の連続講座で、就職活動に必要な職務経歴書をパソコン（ワード・エクセル）で作成することを学びます。

2019年に実施した同講座では、「わからないところがあってもその都度教えて頂けた。」や、「パソコンに対する苦手意識が少し減りました。」などの感想をいただきました。

申込：ハローワーク町田マザーズコーナーの窓口でお申込みください。



予告! 2020年度 男女平等推進
センター登録団体企画のお知らせ

今 映画「キクとイサム」 を観て考える

<内容>

- ・映画「キクとイサム」の上映
- ・講演「世界で広がる“BLACK LIVES MATTER”と日本」

講師：上田誠二氏（日本女子大准教授）

日時：10月11日（日）13～17時

場所：町田市民フォーラム ホール

定員：94名（保育有 3名先着順）

申し込み方法：企画名、氏名、連絡先（tel）を記入し、男女平等推進センターFAX（042-723-2946）で。

「女性のいない民主主義」 前田 健太郎 岩波新書
著者はこれまでの有名な政治学の学説にジェンダーの視点を導入して、慣れてしまった不平等へ疑問を投げかける。彼のジェンダーの視点に基づく批判は分かりやすく明快だ。そして日本の民主主義は「女性のいない民主主義」である事と民主国家であるはずの日本で男性の支配が何故行われているのかをデータを用いて解説している。多様な視点の大切さに気付かせてくれるお薦めの一冊だ。

「知らずに他人を傷つける人たち」香山リカ KKベストセラーズ
職場や家庭のモラルハラスメントが叫ばれるようになったのは、一九九九年のフランスの女性精神科医の著書で初めて「言葉や態度で繰り返し相手を攻撃し、人格の尊厳を傷つける精神的暴力のこと」と定義されてからだ。

「妻」としてしか見ずに「妻とはこういうものだ」と決めつける態度もモラハラを呼ぶ。加害者、被害者にならないための精神科医の分析と言葉が興味深い。（一）

蔵書の紹介

【センターでは、図書の貸出やDVD・ビデオの視聴ができます！】

音シネマでトーク

皆さまにご好評をいただいている、「シネマでトーク」は、コロナ感染防止の為に、しばらく中止にさせていただきます。再開を楽しみに！

募集！ 情報紙作成委員

登録団体の皆さまへ
情報紙「あなたと・・・」を一緒に作りませんか？
希望者は運営委員会まで。

「女性悩みごと相談」 ☎ 042-721-4842

☆女性のための身近な相談室として、電話による相談を受けています。

DVやセクハラ、夫婦間問題、LGBTに関することなど

一人で悩まないで相談してみませんか。

相談時間 月・火・木・金・土曜日 9:30～16:00

水曜日 13:00～20:00

（第3水曜日・日・祝日、年末年始はお休みです。）



「法律相談」 予約は「女性悩みごと相談」にて受け付けます。

☆女性弁護士が担当します。

相談日 毎月 第2・第4木曜日 14:00～16:00

（祝日・年末年始はお休みです。）

